

日高の交通安全（平成21年日高支庁管内交通事故概況）

交通事故の概要

平成21年の管内の交通事故発生状況は、前年との比較において、発生件数・死者数については増加、傷者数についてはほぼ横ばいとなりました。特に、死者数については、最少記録を更新した前年から一転して大幅な増加となりました。

発生件数：174件 前年より11件増。平成12年以来、9年ぶりに前年より増加に転じました。

死者数：14人 前年より12人の大幅な増加となりました。

傷者数：202人 前年より2人の増加となりました。

交通死亡事故の主な特徴

発生時期

- 春から夏にかけての行楽期（5人）及び、初冬期（5人）に多く発生している

発生時間帯

- おもに昼間帯に多く発生している（10人）

発生曜日帯

- 半数以上が週の前半に発生している（月～水：9人）

第一当事者の状況

- 法令違反別発生状況は、ハンドル操作不適が最も多くなっている（7人）
- 年齢層別発生状況は、60歳以上（6人）及び50歳代（4人）の年代の高い層で多発している

事故類型別発生状況

- 正面衝突によるものが最も多くなっている（7人）

道路別等発生状況

- ほとんどが国道において発生している（11人）
- 非市街地での発生が多くなっている（10人）

死亡者の状況

- 年齢層別では、65歳以上が最も多く（6人）、全体の43%を占めている。次いで60～64歳（3人）、50歳代（2人）となっている
- 状態別では、四輪乗車中の死者が（10人）最も多く、全体の71%を占めている

用語解説（1）

第一当事者とは、過失がより重いか、又は過失が同程度の場合にあっては、被害がより小さい方の当事者をいいます。

交通事故発生状況

1 年別発生状況

平成21年の管内の交通事故発生状況は、前年との比較において、発生件数については増加、死者数については大幅な増加、傷者数についてはほぼ横ばいとなりました。

発生件数：174件 前年より11件増えました。3年連続で200件を下回ったものの、平成12年以来、前年より増加に転じました。

死者数：14人 過去最少数となった前年より、12人増の大幅な増加となりました。

傷者数：202人 前年より2人の増加となりました。

区分	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	増減数
発生件数	304	343	305	275	270	252	241	225	175	163	174	11
死者数	19	16	19	19	9	14	13	10	12	2	14	12
傷者数	449	518	429	380	412	346	350	316	254	200	202	2

2 町別発生状況

管内の交通事故発生状況を町別に前年との比較において見ると、浦河町で発生件数・死者数・傷者数ともに前年より減少となりました。

発生件数：5町で（日高町・平取町・新冠町・新ひだか町・様似町）前年より増加となりました。

死者数：浦河町では前年より2人減少となりましたが、管内では大幅に増加しました。

浦河町・えりも町では、死者数は0人でした。

傷者数：浦河町で大幅に減少（18人）となったものの、それ以外の町は横ばいもしくは増加となりました。

区分	日高町	平取町	新冠町	新ひだか町	浦河町	様似町	えりも町	管内計	
21年	発生件数	42	21	18	56	20	11	6	174
	死者数	4	3	1	4	0	2	0	14
	傷者数	49	22	21	70	24	10	6	202
20年	発生件数	41	14	9	49	37	7	6	163
	死者数	0	0	0	0	2	0	0	2
	傷者数	50	22	16	56	42	7	7	200
増減数	発生件数	1	7	9	7	17	4	0	11
	死者数	4	3	1	4	2	2	0	12
	傷者数	1	0	5	14	18	3	1	2

3 月別発生状況

管内の交通事故発生状況を月別に見ると、6～8月の行楽期、11～12月の初冬期に発生件数、死者数ともに多くなっています。

発生件数：8月が18件で最も多いものの、ほぼ毎月14～16件程度発生しています。

死者数：12月が3人と最も多いものの、時期でみると6・7・8月で5人、11月12月で5人、となっています。

傷者数：10月が21人（10.4%）で最も多く、次いで6月が19人（9.4%）となっています。

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	16	16	13	14	5	16	16	18	14	15	16	15	174
死者数	0	2	0	2	0	2	2	1	0	0	2	3	14
傷者数	18	17	18	14	5	19	18	18	18	21	18	18	202

4 時間別発生状況

管内の交通事故発生状況を時間別に見ると、発生件数では16～18時の夕暮れ時が30件で最も多くなっています。死者数では12～14時及び16～18時が各3人で最も多くなっています。

発生件数：8～16時のいわゆる昼間帯が98件と多く、16～18時の夕暮れ時間帯と併せると、これらの時間帯で全体の73.6%を占めています。

死者数：8～16時の昼間帯と16～18時の夕暮れ帯で11人であり、全体の78.6%を占めています。

区分	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	合計
発生件数	1	2	6	11	25	26	25	22	30	20	3	3	174
死者数	0	1	1	0	2	2	3	1	3	0	1	0	14
傷者数	1	1	5	12	31	31	32	26	32	26	2	3	202

5 曜日別発生状況

管内の交通事故発生状況を曜日別に見ると、週の前半に比較的多く発生し、死者数も多くなっています。

発生件数：土曜日が31件(17.8%)で最も多く、次いで水曜日が29件(16.7%)となっています。

死者数：月曜日が4人で最も多く、ついで火曜日の3人となっており、全体の半数を占めています。

区分	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	26	23	29	19	24	31	22	174
死者数	4	3	2	1	2	2	0	14
傷者数	34	22	36	20	28	35	27	202

6 第一当事者の法令違反別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の法令違反別に見ると、前方不注意や前左右不確認、ハンドル操作不適などの安全運転義務違反によるものがほとんどとなっています。

発生件数：前方不注意が64件(36.8%)で最も多く、次いで前左右不確認が28件(16.1%)となっています。

死者数：ハンドル操作不適による7人が(50.0%)最も多く、ついで前方不注意による4人となっています。

区分	酒酔い	追越し	通行区分	歩行者 妨害	最高速度	信号無視	一時 不停止
発生件数	0	1	4	5	2	1	5
死者数	0	0	0	0	1	0	0
傷者数	0	1	6	5	1	2	5

区分	安全運転義務違反									その他の違反	合計
	前方 不注意	動静 不注視	前左右 不確認	ハンドル 操作不適	ブレーキ 操作	安全速度	後方 不確認	その他	小計		
発生件数	64	18	28	13	10	2	11	2	148	8	174
死者数	4	0	1	7	0	0	0	0	12	1	14
傷者数	78	24	37	8	11	2	13	2	175	7	202

7 第一当事者の年齢層別発生状況

管内の交通事故発生状況を第一当事者の年齢層別に見ると、発生件数では50歳代、死者数では65歳以上と50歳代が最も多くなっています。

発生件数：50歳代が37件（21.3%）で最も多く、次いで65歳以上が33件（19.0%）となっています。

死者数：50歳代と65歳以上が各4人となっています。50歳代以上の世代で全体の71.4%を占めています。

区分	ドライバー								その他	合計
	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	小計		
発生件数	22	21	19	26	37	16	33	174	0	174
死者数	1	1	0	2	4	2	4	14	0	14
傷者数	28	27	24	25	42	14	42	202	0	202

8 事故類型別発生状況

管内の交通事故発生状況を事故類型別に見ると、発生件数・傷者数については追突が、死者数については正面衝突が最も多くなっています。

発生件数：追突が60件（34.5%）で最も多く、次いで正面衝突が28件（16.1%）となっています。

死者数：正面衝突が7人（50.0%）で最も多く、次いで車両単独が3人（21.4%）となっています。

区分	人对車両	自転車 対車両	車両相互							車両単独	踏切	合計
			正面衝突	追突	出会い頭	追越時	すれ違い時	右左折時	その他			
発生件数	14	10	28	60	26	4	3	6	4	18	1	174
死者数	2	1	7	0	0	0	1	0	0	3	0	14
傷者数	12	9	31	77	36	5	3	6	4	17	2	202

9 道路別発生状況

管内の交通事故発生状況を道路別に見ると、発生件数・死者数・傷者数ともに国道が最も多くなっています。

発生件数：国道が116件（66.7%）で最も多く、次いで町道が36件（20.7%）、道道が15件（8.6%）となっています。

死者数：国道が11人で最も多く、全体の78.6%を占めています。

区分	国道	道道	町道	その他	合計
発生件数	116	15	36	7	174
死者数	11	2	1	0	14
傷者数	138	16	40	8	202

10 道路形状別発生状況

管内の交通事故発生状況を道路形状別に見ると、交通事故の6割近くは市街地で起きているものの(103件)、死者の7割以上(10人)は非市街地で発生する事故で占められています。

発生件数：市街地交差点が52件(29.9%)で最も多く、次いで市街地直線38件、非市街地直線37件となっています。

死者数：非市街地のカーブと直線が各4人で最も多くなっています。

区分	市街地					非市街地				
	交差点	トンネル	カーブ	直線	その他	交差点	トンネル	カーブ	直線	その他
発生件数	52	0	9	38	4	11	5	16	37	2
死者数	2	0	0	2	0	0	2	4	4	0
傷者数	66	0	13	42	5	14	3	19	37	3

11 年齢層別状態別死者数

管内の交通事故死者数を年齢層別状態別に見ると、65歳以上が6人(42.9%)で最も多く、次いで60~64歳が3人となっています。両者をあわせた、60歳以上の高齢世代が9人で全体の64.3%を占めています。

また、四輪乗車中の死者は10人で、全体の71.4%を占めています。

区分	25歳未満	25~ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~ 64歳	65歳以上	合計
四輪乗車中	1	1	0	1	2	2	3	10
二輪乗車中	0	0	0	0	0	0	0	0
特殊車乗車中	0	0	0	0	0	0	1	1
自転車乗車中	0	0	0	0	0	0	1	1
歩行中	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	1	1	0	1	2	3	6	14